

取扱説明書

SWD-2000S

Class-Dアンプ パワードサブウーハー

68P60810Y19-O

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。

音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしないでください。事故・ケガの原因になります。操作する場合には、安全な場所に停車してください。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

Wonderful Heart Network
お買い上げ店を詳しく お客様ごとのネット上へ

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- 〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
- FAX：03-3494-1767 Phone: 03-3779-0711
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30～17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXがハガキをおすすめします。

アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan
Printed in China (T-484)

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの店に依頼してください。

車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。

車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。

取り扱い上のご注意

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

過大入力に注意

音が歪（ひず）んだり、異音（ボコボコ、ヘコヘコという音）が出るような状態ではスピーカーへの入力が大きすぎます。(過大入力)
スピーカーに過大入力が続けると、性能が落ちたり、壊れたりしてしまいます。過大入力にならない範囲でご使用ください。
過大入力によるスピーカーの破壊は保証期間内でも無償修理の対象外です。
歪（ひず）まないようにゲインなどを調整すると十分な音圧（音量）が得られなくなることがあります。この場合は、サブウーハーをリスナーに近づけて設置してください。理論上、距離が半分になると音圧は4倍になります。

どうして壊れるの？

一般にアンプはフルパワーで使うより、音量を下げ、アンプに余裕を持たせてならした方が、締まってエッジの効いた良い音が得られます。
このパワードサブウーハーも、良い音を出すために余裕のあるアンプが内蔵されています。ですから、音が割れるほどの過大入力状態でならし続けた場合、スピーカーは壊れてしまうのです。過大な入力になっているかどうかは音を聞いて判断します。歪（ひず）まない範囲の音量でお楽しみください。

こんなときには

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。
それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、またはお近くの「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

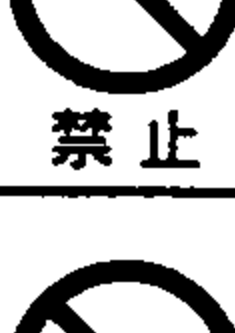
症 状	原 因	処 置
動作しない。 (ヒューズが切れるなどの症状。)	ヘッドユニットの電源が入っていない。	ヘッドユニットの電源を入れる。
	アースコードの接続が不完全。	アースコードの接続を確認する。
	バッテリー電源コードの接続が不完全。	バッテリー電源コードの接続を確認する。
	ヒューズが切れている。	所定容量のヒューズと交換する。
電源は入るが、音が出ない。	リモートオンコードの接続が不完全。	リモートオンコードの接続を確認する。
	PINコードの接続が不完全。	端子に正しく挿入する。
	スピーカー入力の配線が不完全。	スピーカー入力配線の接続を確認する。
	入力感度調整ボリューム位置がシステムに合っていない。	システムに合わせて正しい位置にする。



禁止



警告



禁止



禁止



警告



警告



禁止

保証書／アフターサービスについて

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

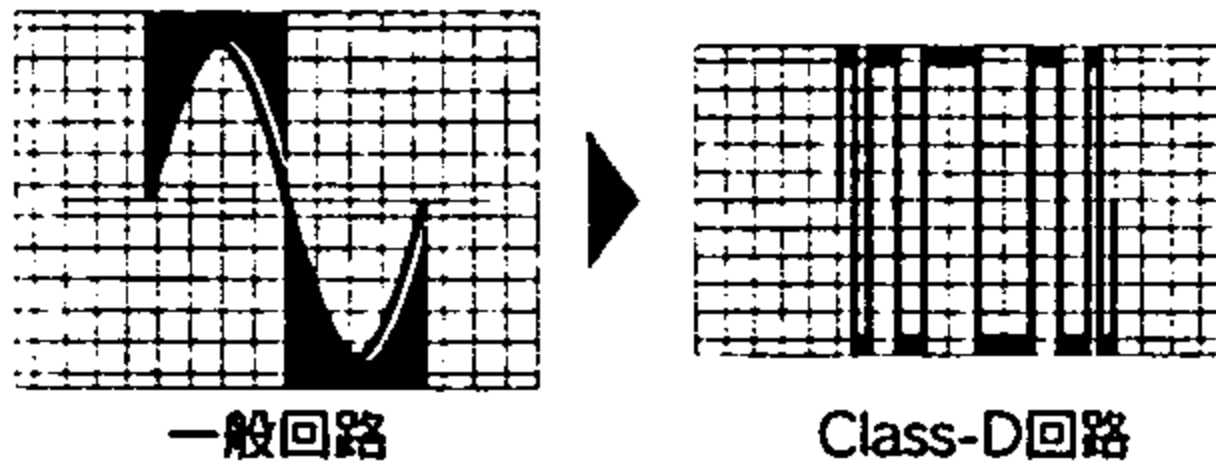
- 調子が悪いとき……まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき…保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップに修理を依頼してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- 保証期間中の修理……保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理……修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品………製造打ち切り後でも、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店または下記の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

規格

- 最大出力………350W
- クロスオーバー………50～200 Hz可変(－24dB/oct.)
- 入力インピーダンス………18kΩ(ライン入力)
36kΩ(スピーカー入力)
- 使用電源………DC14.4V(動作範囲：11～16V)
- アース方式………⊖アース
- 出力音圧レベル………96dB/10W・m
- 外形寸法………350mm×300mm×198mm
- 重量………8.5kg

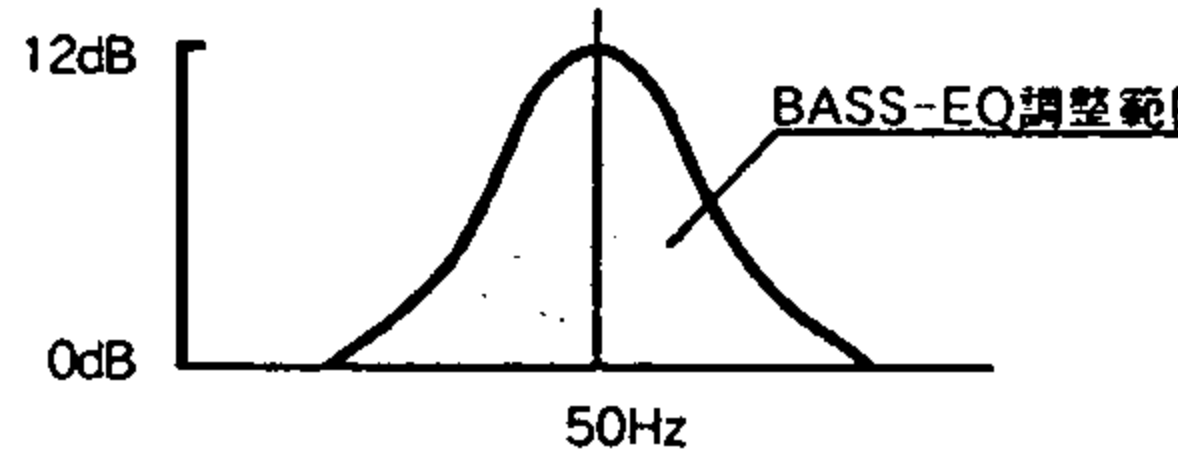
Class-Dアンプについて

Class-Dアンプは、入力信号増幅をデジタル制御で行っているため、アナログアンプに比べ信号増幅時の発熱ロスが少なく、ハイパワー化及び放熱ヒートシンクの小型化を実現しています。
SWD-2000S は、このテクノロジーを採用した小型高性能ハイパワーアンプを搭載しています。



BASS EQについて

中心周波数50Hzの帯域を0～12dBの間でレベル調整を行う機能です。
お好みにあった低域の音質調整が可能です。



- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

品 名	数 量	品 名	数 量
3ピンハーネス	1	スピーカー/RCA変換ケーブル(6m)	2
電源用延長コード (5.5m)	1	ブラケット	4
リモート延長コード (5.5m)	1	タッピングネジ	8
圧着コネクター	4	マシンネジ	4

(SP) (平成14年12月15日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

インフォメーションセンター	・FAX：03-3494-1767 Phone：03-3779-0711 ・電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30～17:30
---------------	--

サービス店名	店番号	住所	担当 電話番号
アルパインマート(ソニービル) 本店	03-5496-8231	〒141-0031 東京都品川区西五反田1丁目1番8号	
北海道エリア	札幌支店 011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北5条西22丁目1番1号 札幌ビル	北海道全店
東北エリア	仙台支店 022-239-5331	〒981-0013 宮城県仙台市青葉区南町3丁目19番5号	宮城県仙台市青葉区南町3丁目19番5号
	盛岡支店 024-925-3811	〒985-8051 福島県盛岡市盛岡大町3丁目11番5号	福島県盛岡市盛岡大町3丁目11番5号
	青森支店 017-762-3061	〒030-0111 青森県青森市大字荒巻字栗田199-2番地1202	青森県青森市大字荒巻字栗田199-2番地1202
関東エリア	高崎支店 027-361-5813	〒370-0073 群馬県高崎市榎町1丁目16番6号	群馬県高崎市榎町1丁目16番6号
	松本支店 0263-48-4772	〒380-0852 長野県松本市南30番地の11 本町1102号	長野県松本市南30番地の11 本町1102号
	宇都宮支店 028-610-8890	〒321-0942 栃木県宇都宮市南2-28-12	栃木県宇都宮市南2-28-12
	新潟支店 025-257-8680	〒950-0862 新潟県新潟市東区1丁目112番1号	新潟県新潟市東区1丁目112番1号
関東圏エリア	東京支店 03-5666-5226	〒113-0061 東京都港区新橋2-40-61	〒113-0061 東京都港区新橋2-40-61
西関東エリア	東京支店 045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新横浜1767番地 横浜駅前電気通信事業所内5F	東京都品川区中目黒区新横浜1767番地 横浜駅前電気通信事業所内5F
	神奈川支店 045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新横浜1767番地 横浜駅前電気通信事業所内5F	神奈川県横浜市港北区新横浜1767番地 横浜駅前電気通信事業所内5F
	千葉支店 043-664-7701	〒271-0852 千葉県千葉市中央区新大塚1丁目19番5号	千葉県千葉市中央区新大塚1丁目19番5号
中部エリア	名古屋支店 052-779-5655	〒465-0823 愛知県名古屋市中区栄3丁目110番	愛知県名古屋市中区栄3丁目110番
	静岡支店 054-283-0171	〒422-8012 静岡県静岡市東区東1丁目19番1号	静岡県静岡市東区東1丁目19番1号
	北沢支店 076-240-8111	〒921-8096 石川県金沢市丸太町112番1号	石川県金沢市丸太町112番1号
近畿圏エリア	大阪支店 06-6386-1136	〒564-0041 大阪府大阪市東区3-18-14	大阪府大阪市東区3-18-14
四国・九州エリア	岡山支店 086-243-8247	〒700-0975 岡山県岡山市中区1丁目14番2号	岡山県岡山市中区1丁目14番2号
	広島支店 082-846-1175	〒731-0138 広島県広島市安佐区北1-1-22 1111番1号	広島県広島市安佐区北1-1-22 1111番1号
	高松支店 087-869-3086	〒761-8071 香川県高松市丸の内1473番1号	香川県高松市丸の内1473番1号
九州エリア	福岡支店 092-452-8870	〒816-0093 福岡県福岡市博多区博多2-23-2 博多2-23-2	福岡県福岡市博多区博多2-23-2 博多2-23-2
	長崎支店 095-727-1581	〒854-0074 長崎県長崎市山手町1-13	長崎県長崎市山手町1-13
	鹿児島支店 099-218-8121	〒890-0005 鹿児島県鹿児島市下町1-151-25-102	鹿児島県鹿児島市下町1-151-25-102
	熊本支店 096-213-7118	〒962-0929 熊本県熊本市南區2-2-20	熊本県熊本市南區2-2-20
沖縄エリア	那覇支店 075-331-6696	〒900-8480 沖縄県那覇市金城2-2-2 金城2-2-2	沖縄県那覇市金城2-2-2 金城2-2-2
アルパイン(販売代理店)	0794-544-6121	〒975-0087 宮城県仙台市青葉区南2-9-1337号	宮城県仙台市青葉区南2-9-1337号
アルパイン(公認販売店)	058-358-6800	〒760-8122 広島県広島市東区東3丁目10番8号	広島県広島市東区東3丁目10番8号
イオンPLAZA	095-366-1916	〒900-0002 沖縄県那覇市金城2-2-2 金城2-2-2	沖縄県那覇市金城2-2-2 金城2-2-2

はじめに

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分であることを確認してください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げ店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

1. 取り付ける

- 1 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、エンジンキーを抜く。
おおよそのレイアウトを決め、コードの長さが十分か確認する。

- 2 取り付ける。

**警告**

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。

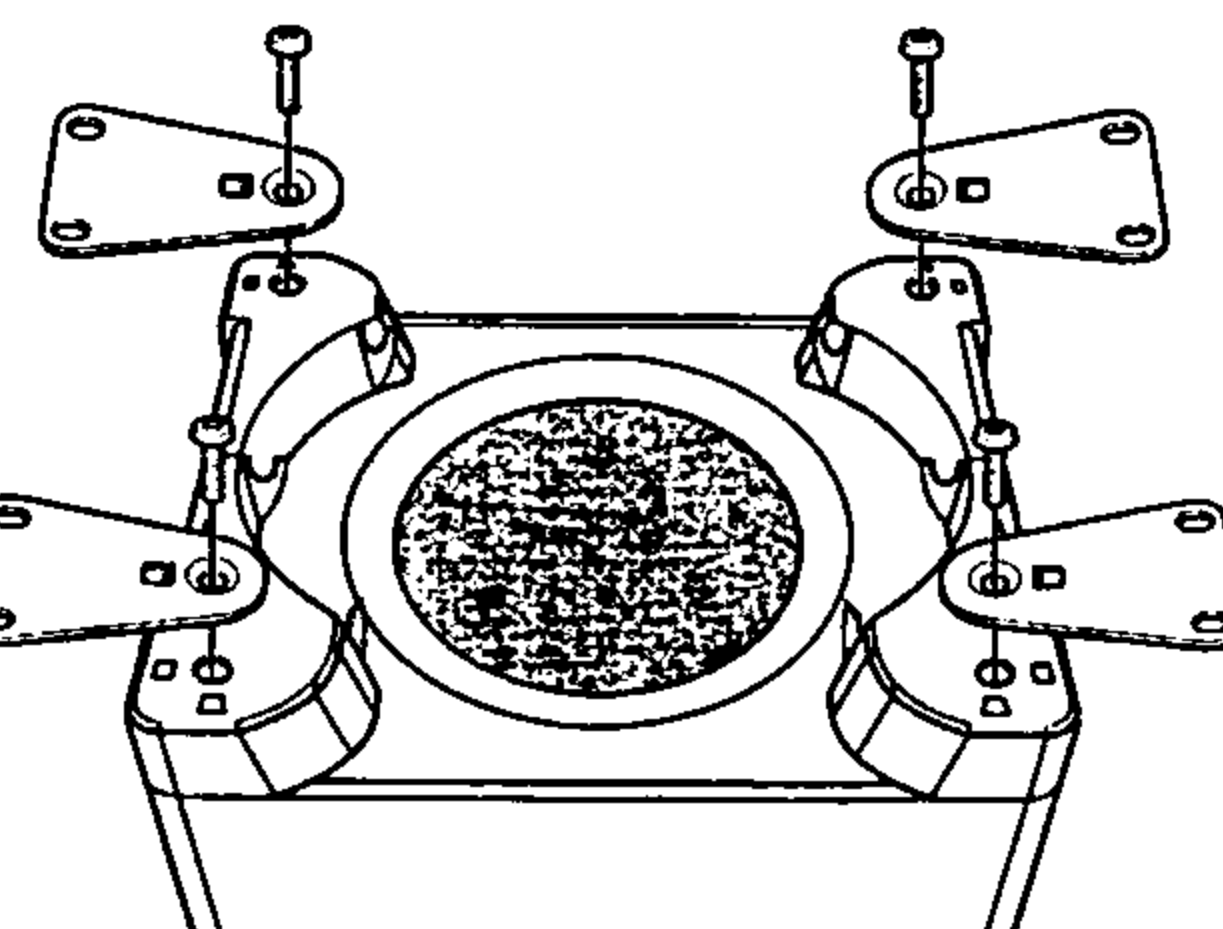
**警告**

取り付け・アース接続には、ステアリング・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。

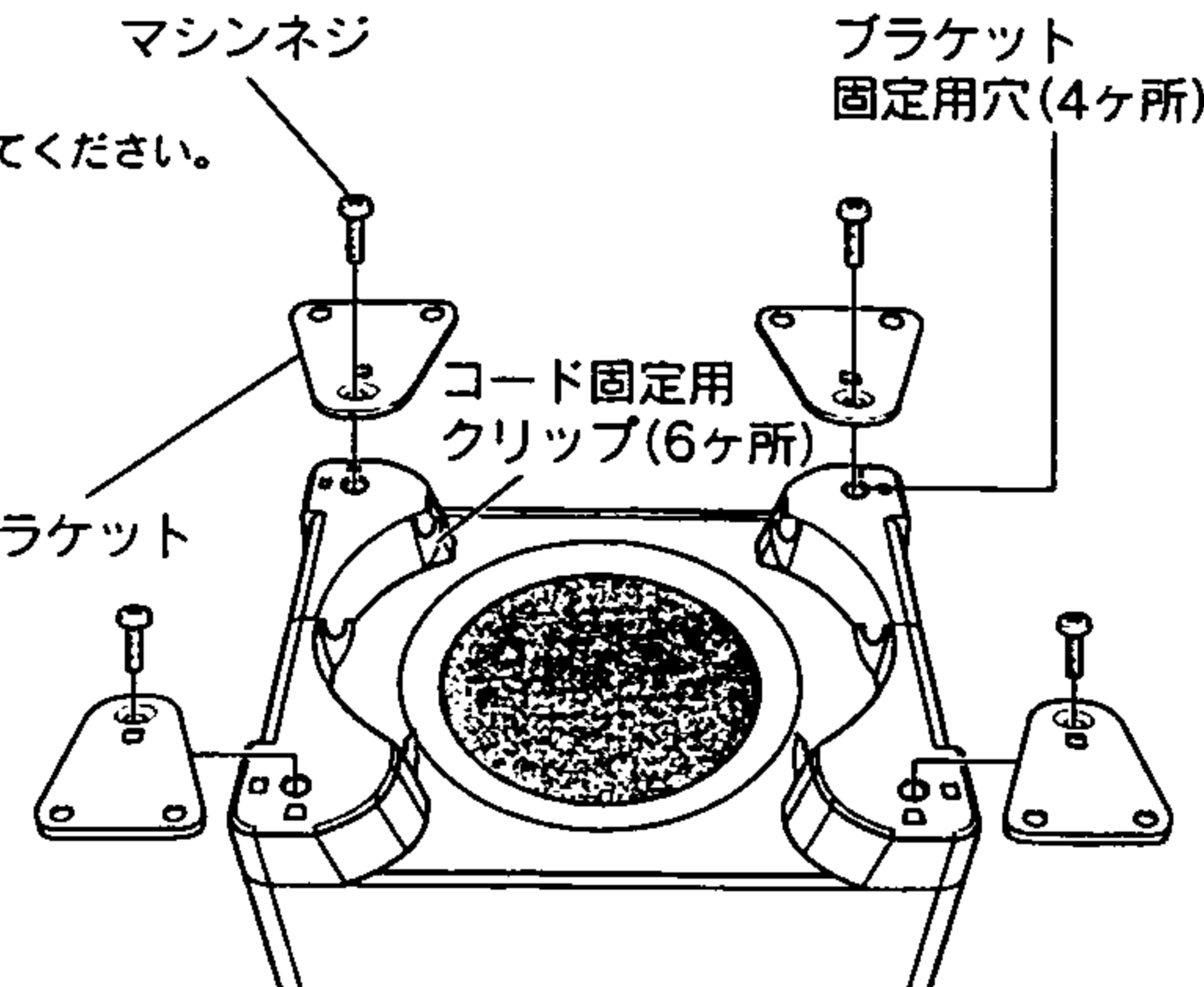
①車への取り付け場所を設定します。
(トランク・ルームなどが最適です。)

②マシネジでブラケットを本機に取り付けます。

- ・ブラケットは、縦／横に取り付け可能です。取り付け位置に合わせて選んでください。
- ・コードは、必ずコード固定用クリップを通して配線してください。ノイズまたは、コード破損の原因になります。



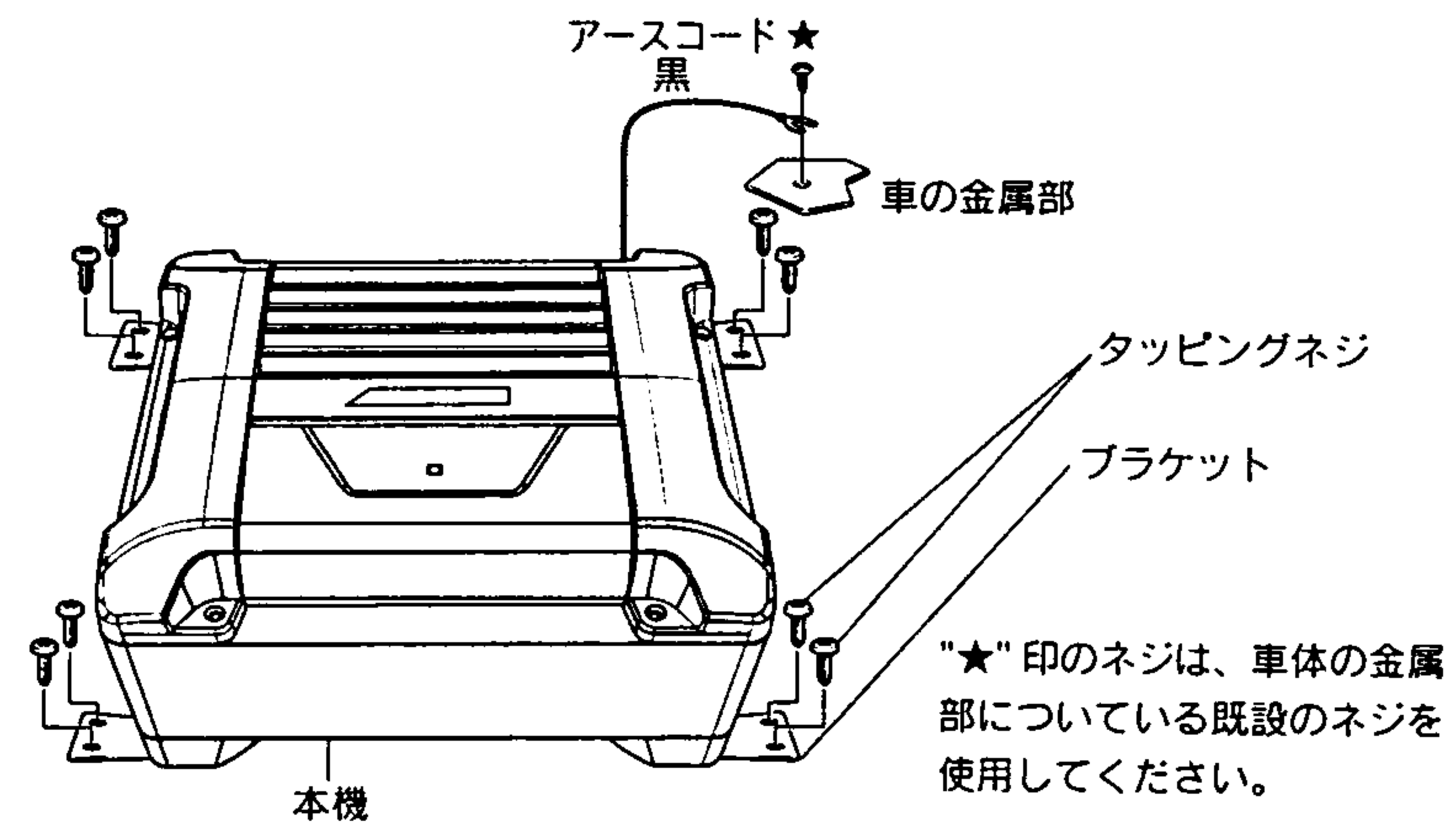
ブラケット(横) 取り付け例



マシネジ
コード固定用クリップ(6ヶ所)
ブラケット
固定用穴(4ヶ所)

ブラケット(縦) 取り付け例

- ③車への取り付けネジ位置に印をつけます。
- ④ドリルでφ3mm以下の穴を開けます。
- ⑤タッピングネジで本機を車に固定します。
- ⑥本機のアースコードを車の金属部に取り付けます。



2. 接続する

- 1 はじめに

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

- 2 バッテリー⊖端子を外す。

**Meme**

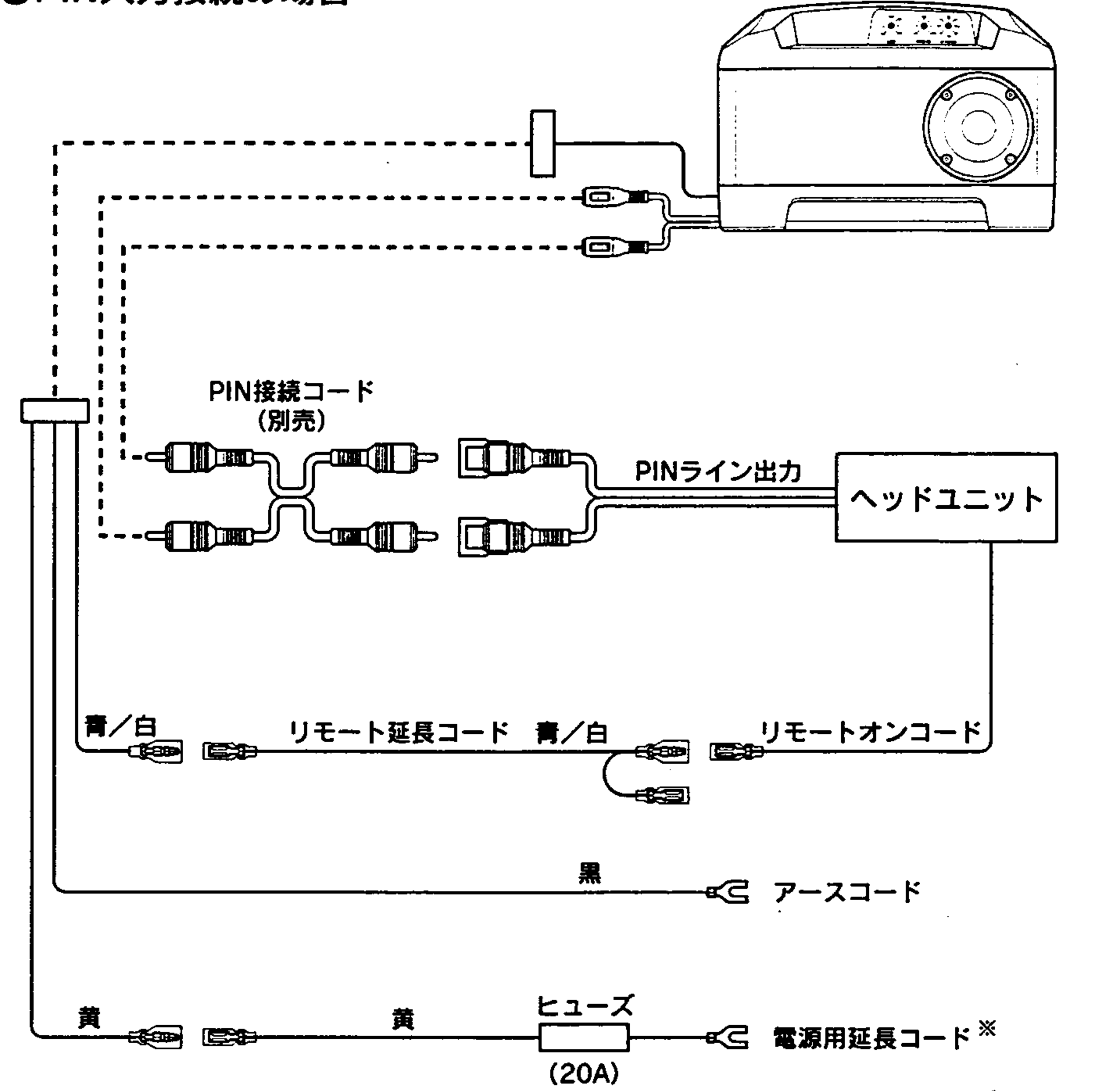
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーの⊖端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーの⊖端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。

- 3 接続する。

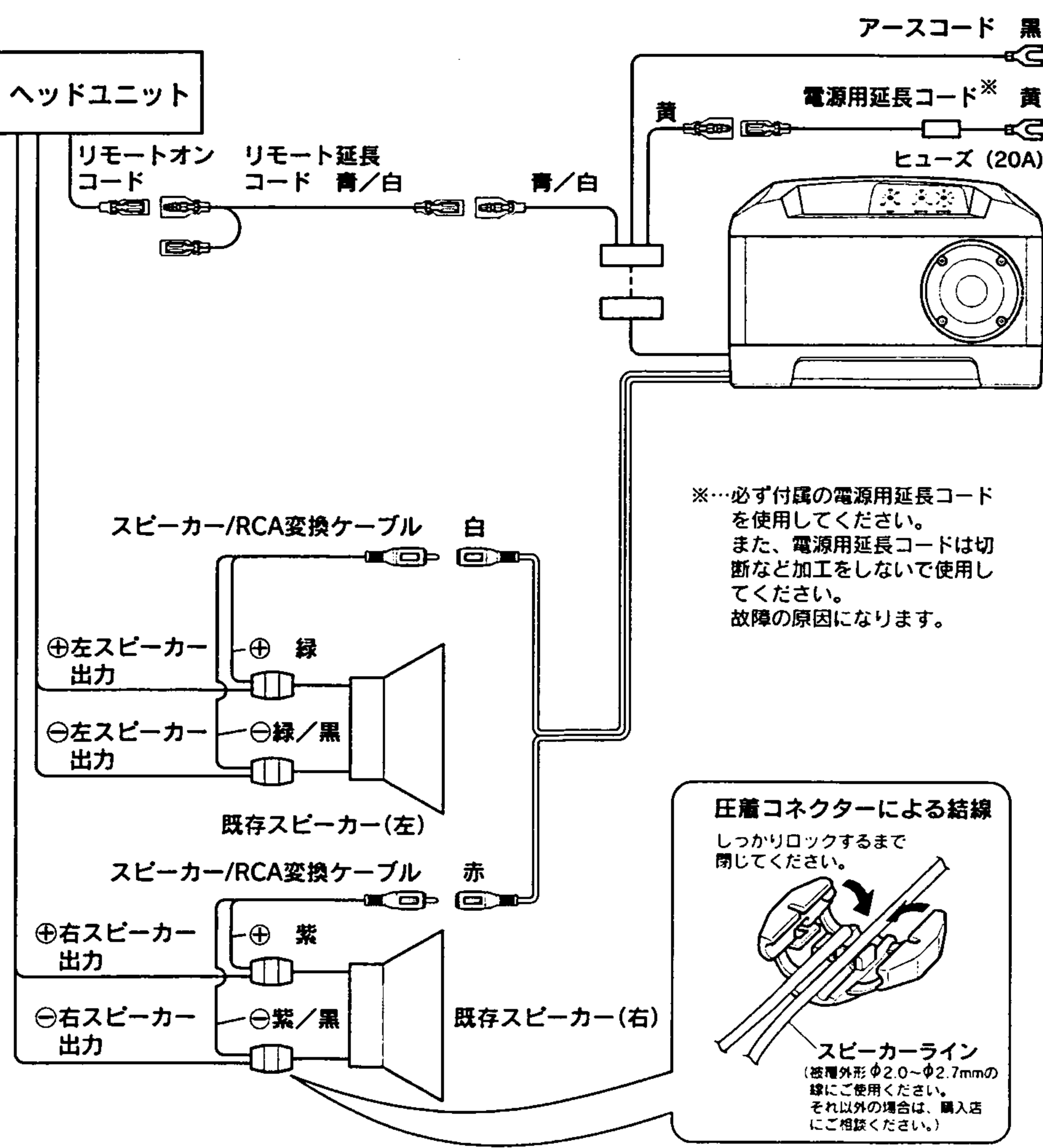
**注意**

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。

- PIN入力接続の場合



- スピーカー入力接続の場合



コード名称	補足説明
リモート延長コード	ヘッドユニットなどのリモートオンコードと接続してください。 ●ヘッドユニット側などにリモートオンコードがない場合は、車のACC電源コード（ACCポジションで電源が供給されるコード）に接続してください。
アースコード	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。
電源用延長コード	直接車側のバッテリーの⊖端子に接続してください。

**Meme**

- スピーカーコードの⊖側が左右共通になっている車両には、使用できません。
- スピーカーのインピーダンスは3.2〜8Ωのものをお使いください。
- 車両雑音から守るために
 - ・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - ・電源用延長コードとPINコードは離す。
 - ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

3. 確認する

- 1 コード類を固定する。

**注意**

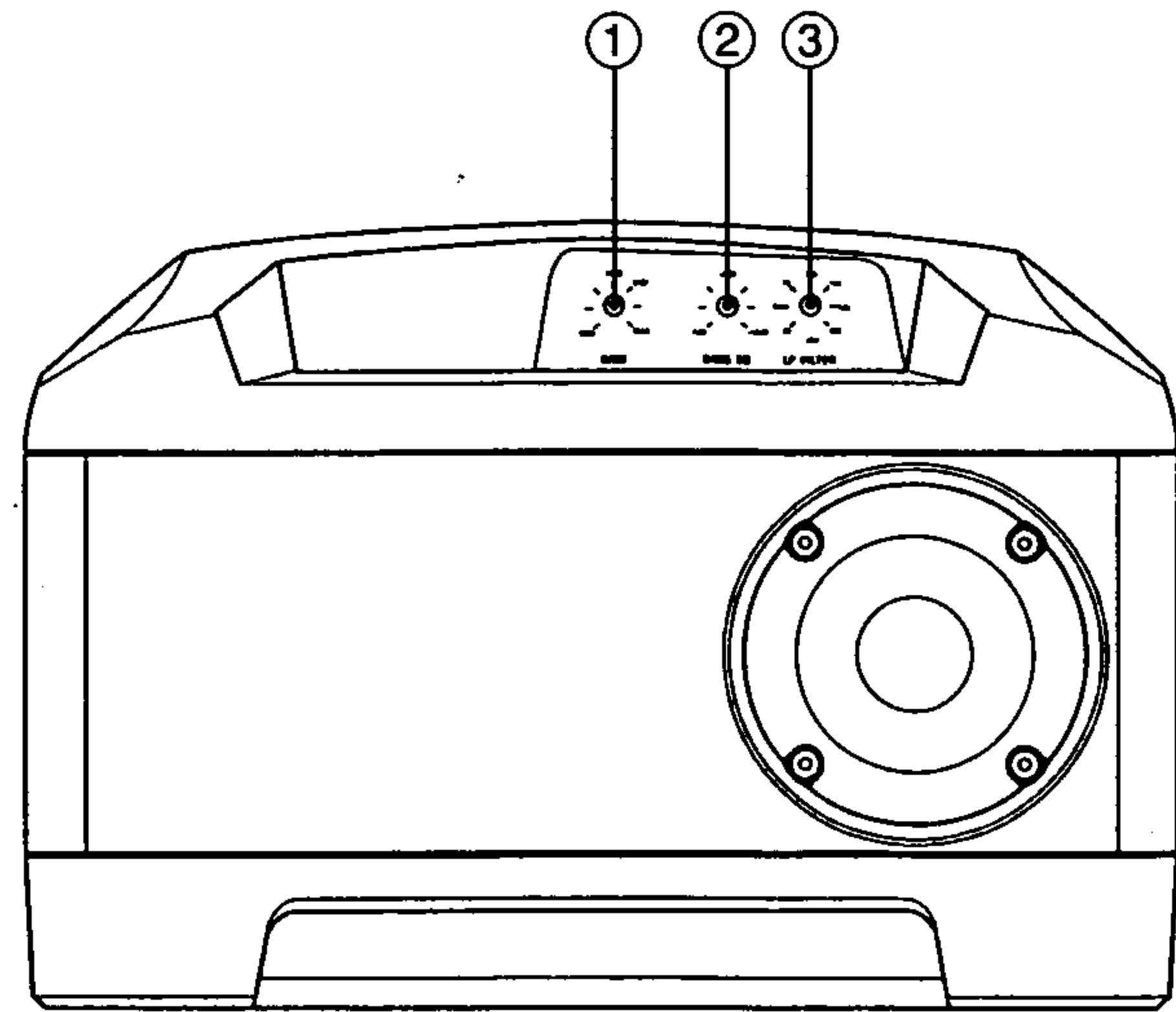
コードをシートレールにはさんだり、突起部に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

- 2 バッテリー⊖端子を接続する。

- 3 エンジンキー／カーオーディオ電源をONにして、本機の動作が正しいこと（音が出ているかなど）を確認する。

- 4 ホーン／ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

4. 調整する



過大入力に注意
音が歪（ひず）んだり、異音（ボコボコ、ベコベコという音）が出るような状態ではスピーカーへの入力が大きすぎます。(過大入力)
スピーカーに過大入力が続けると、性能が落ちたり、壊れたりしてしまいます。
過大入力にならない範囲でご使用ください。

1. 入力感度調整ボリュームをMIN、Bass EQを0dB、LPFを75Hzに設定してから、システムの電源をオンにしてください。
2. ヘッドユニット等のTRE、BASSをセンターの状態にして、ボリュームを普段聴いているレベルにあわせてください。この時の音楽ソースとしては、いつも聴いているものを使うと調整がやり易いでしょう。
3. 次に、本機の入力感度調整ボリュームをMINから徐々に上げていきます。システム全体で、バランスがとれる位置まで上げていってください。この時、入力感度を上げすぎると音が歪むことがあります。ヘッドユニットのボリュームが上がりすぎていても音が歪みます。他のスピーカーからも歪みが出ていないかどうか、確認しながら調整を進めてください。スピーカーシステム全体が歪んでいるような時は、ヘッドユニットのボリュームを絞ってください。
4. 入力感度調整が済んだらローパスフィルター周波数切替 (LPF) を調整し、他のスピーカーとのバランスが最良となるポイントを探してください。(75Hz基準として調整することをお勧めします。)
5. LPFが変わると聴感上、音圧も変化します。3.4.の手順を繰り返し最良のポイントを見つけてください。
6. 最後にBass EQを調整します。
低域を0dB〜+12dBの間で調整することができます。通常は0dBを目安に合わせ、低域が不足と感じられるときにお好みにより調整してください。